

## カトリック山手教会月報

## やまて

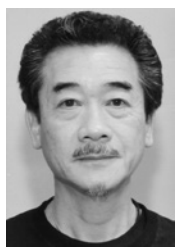


編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地  
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第598号 2019年8月11日

## 教会報『やまて』創刊50周年によせて

主任司祭 ミカエル鈴木真



『やまて』創刊50周年、おめでとうございます（と、わたしが言うのも変ですが…）。思えばここに助任していた時は、巻頭言が回ってくるたびにネタ探して大変だった思い出があります。教会報は、どこの教会でも重要なものだと思いますが、特に『やまて』の内容を考えると、様々な理由で、普段、教会に来られない方々にとって、とても大切なものであると強く感じています。なかなか教会に行かれないけれど、『やまて』を目にすれば教会でどんなことが行われていて、また教会委員会で何が検討され、決められたかがわかる・多くの信徒の方々が教会と結んでいるものであることがわかります。実際に、病床を訪れる聖体奉仕者の方々や、普段、教会に来られない方の近所に住む信徒の方々が、『やまて』を届けてくださっています。また、『やまて』を見てくださっているのが山手教会の信徒だけではないことにも気づかされます。今年5月に、病床にある司祭を訪れた時、たまたま金師と一緒にいたのですが、その神父さんが金師を見て「ああ、今度は藤沢ですね」とおっしゃって、その時、枕元に『やまて』が置かれていることに気づきました。すっかりデジタルな世の中ですが、まだまだ紙の重要性も実感する今日この頃です。多くの方々が教会共同体とつなげ続けるため

に、『やまて』の編集に携わっておられる方々、どうぞ今後とも宜しく願っています。

## 『やまて』創刊50周年を迎えて

山手教会の教会報『やまて』は、1969（昭和44）年8月15日に創刊され（次頁に表紙を掲載しました）、今年の8月号で創刊50周年となりました。この間、一度も休刊することなく発行し続けることができたのは、編集に関わって来られた方々が使命感をもって努力を積み重ねて来られた結果です。また、同時に歴代の聖職者の方々と信徒の支えがあったからにほかなりません。『やまて』は、山手教会の歴史そのものを表現しています。2014（平成26）年1月31日に発行した横浜天主堂献堂150周年記念誌『横浜天主堂・カトリック山手教会150年史』を編集したときに、わたしも編集委員会のメンバーとして参加しましたが、信頼できる唯一の資料は『やまて』でした。今後の山手教会の記念史を編集するときのことも考えて記事を掲載していく所存です。今回、巻頭言として主任司祭の鈴木真師、また、かつて編集に関わられた青木淳氏と野村あい子氏に寄稿いただきましたことに感謝いたします。

『やまて』が誕生する経緯などについては、『横浜天主堂・カトリック山手教会150年史』の「広報」（119～122頁）に詳細に記載されていますので、参照願います。なお、記念誌をお持ちでない方のために、以下に内容をまとめます。